

職員による自己評価

A環境・体制整備

- ・利用定員と訓練室等スペースの関係が適切である。

B業務改善

- ・職員の資質の向上のための研修の機会を確保している。

C適切な支援の提供

- ・アセスメントを適切に行い、ニーズを分析したうえで計画を立てている。
- ・支援終了後には、振り返りを行っている。
- ・日々の支援の記録を取り、支援の検証などに繋げている。

D関係機関や保護者との連携

- ・学校等の情報共有を行っている。

E保護者への説明責任等

- ・お子様の状況を保護者の方に伝え、共有理解をしている。

F非常対応

- ・緊急時対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知している。

保護者による評価

A環境・体制整備

- ・活動スペースは十分確保されている。
- ・職員の配置数や専門性は適切である。

B適切な支援の提供

- ・ニーズや課題が客観的に分析され計画が作成されている。
- ・活動プログラムが固定化されないように工夫されている。

C保護者の説明等

- ・支援内容・利用者負担について丁寧な説明がされている。
- ・日頃からお子様の状況を保護者の方に伝え共有理解ができている。
- ・意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている。

D非常対応

- ・防災等のマニュアルを策定し、保護者の方に説明している。

E満足度

- ・お子様は通所を楽しみにしている。
- ・事業所の支援に満足している。

事業所内での分析

【共通点】

- ・活動プログラムが固定化しないように工夫されている。
- ・個人情報に留意している。
- ・お子様や保護者の方への情報伝達に配慮している。

【相違点】

- ・新規事業所のため、ガイドラインに沿って事業を展開してきており、相違の内容に進めている。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

・ハード、ソフトともに柔軟に整え、事業所の環境もお子様を自然な形で迎えられ、なにより「個」に寄り添って療育を行う。

・お子様を取り巻く環境、家族、学校、キッズ、他事業所との連携を深め、特にお母さまのご負担の軽減を図るべく相談業務に力を入れている。

事業所の改善点

- ・バリアフリーとして、マットの使用を検討
- ・PDCA サイクルの導入を図り、広く職員が参画できるようにする。
- ・自己評価をホームページにて公開する。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

改めて自己評価を行うことにより、経験や知識だけでは計り知れない療育の世界を知ることができた。新しい事業所だからこそ、それらを踏まえて【1（いち）】からふれあい、学び、繋ぎ、そして次へ渡す。

その準備を行う、良い機会になった。

療育とは、求めている人と求められている人、双方の関係により成り立つもので、私たち職員は驕ることなく、日々研鑽を積み、前に進まなければならない。

行政と学校と、葛藤と後悔の懸け橋になれるよう、努めて参ります。

事業所名 ハミングバード荏田西

担当者 高橋 由美